

食と技術の平成史

文／柳澤美帆

より便利に、より手軽に

女性の社会進出や核家族化が進み、高齢者や単身世帯も増えたことから、調理の簡便化や食材の小型化などの需要が高まり、さまざまな商品が開発されました。

消費者ニーズにあわせて、姿を変える野菜

カット売りされることが多い白菜や大根などの大型野菜は、品種改良された一度に使いきれのコンパクトサイズが人気を集めました。手軽に使えるカット野菜や、日持ちする冷凍野菜なども広く普及。また、簡単に多くの栄養を取れる高栄養価野菜や、見た目が美しいカラフル野菜も注目されています。



20cmほどのミニ白菜は、冷蔵庫で場所をとらないというメリットも(※)

プチサイズのたまねぎ「ベコロス」(※)



鮮やかな紫色をしたじゃがいも「シャドークイーン」(※)



紫、赤、オレンジ、黄、緑など、見た目も華やかなミニトマト(※)



抗酸化作用が期待できる「高リコピントマト」をはじめ、栄養価を高めた野菜が登場



袋から出せばすぐに1品料理になるよう、カットの仕方を工夫した商品

写真提供／株式会社サラダクラブ(下記3点とも)



1品目だけでなく、さまざまな野菜を組み合わせたパッケージサラダもある

※写真提供／フーズリンク

無洗米やパックご飯が一般に広く普及

パックご飯は、電子レンジで数分温めるだけで炊きたてに近い食味が味わえることから、広く普及しました。また、米を洗う必要がない無洗米は平成3年に誕生し、平成10年以降には消費量が約4倍に増加。底面が平らで自立する包装容器(スタンドパック)に入った米も登場しました。

食べ切り需要に応じて生まれた小容量米を扱う店が増えている



パックご飯は米飯を気密性のある容器に入れて無菌包装してあるので保存が効く



手軽に食べられるファストフィッシュ商品が定着

気軽・手軽においしく水産物を食べられるようにすることで、消費を拡大させようと平成24年から「ファストフィッシュ」商品の選定が始まりました。料理の手間を省いてあり、短時間の調理で食べられるさまざまな水産物食品が選定されています。

レッツ・ギョー!

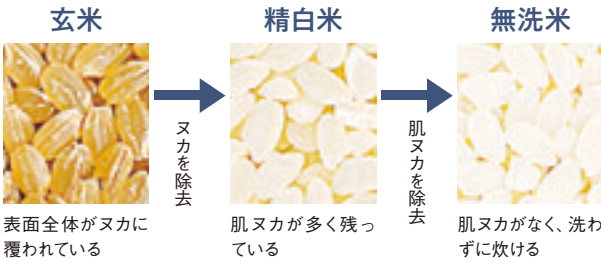


写真提供／ディノス

そのまま焼くだけでおいしく食べられる「金華山沖さばスティック」やレトルト商品など、これまでに3,288品のファストフィッシュを選定(2019年3月時点)

無洗米ができるまで

さまざまな方法で肌ヌカが取り除かれた米は、洗わずに炊くことができます。精白米の肌ヌカ除去に薬剤は使用しません。



写真提供／全国無洗米協会

手軽にできる「おにぎらず」がブームに

ラップの上ののり、ご飯、具をのせ、ラップごとご飯をたたみ具を包む。ご飯を握らずに作れる「おにぎらず」は手軽さから一大ブームに。SNSがブームのきっかけですが、料理漫画や沖縄のボーク卵おにぎりがルーツともいわれています。



さかなクンが農林水産省お魚大使に

お魚に対する深く幅広い知識を持ち、平成22年には絶滅したとされていたクニマスが発見に貢献したことでニュースになった、さかなクン。その卓越した知識や表現力を生かして水産をPRしてもらおうと、平成23年にお魚大使に任命されています。



平成10年 1998年	平成9年 1997年	平成8年 1996年	平成7年 1995年	平成6年 1994年	平成5年 1993年	平成4年 1992年	平成3年 1991年	平成2年 1990年	平成元年 1989年	元号 西暦
7月 火星探査機「のぞみ」打ち上げ成功 小淵内閣誕生	2月 郵便番号が7桁に 長野冬季五輪開催 明石海峡大橋開通	12月 東京湾アクアライン開通	11月 東京で「ゆりかもめ」開通	10月 北海道東方沖地震発生	11月 EU(欧州連合)が誕生	9月 米の作況指数「80」を公表。記録的な冷夏と日照不足が原因。米不足で「平成の米騒動」と呼ばれる事態に	6月 皇太子徳仁親王、小和田雅子さんと結婚 北海道南西沖地震発生 細川内閣誕生 米の作況指数「80」を公表。記録的な冷夏と日照不足が原因。米不足で「平成の米騒動」と呼ばれる事態に	12月 ソビエト連邦が崩壊 ベルリンの壁が崩壊	1月 昭和天皇崩御 皇太子明仁親王ご即位 新元号「平成」が発表される 消費税3%導入 宇野内閣誕生 海部内閣誕生 横濱ベイブリッジ開通	主なできごと

共同通信社

共同通信社

共同通信社

国立公文書館所蔵

より食を楽しみ、健康に

平成時代に入ると、消費者の好みはますます多様化。また、健康を意識する人や味にこだわる人も増え、体によくておいしい食材が多く作られるようになりました。

よく食べる魚の上位3種がサケ、マグロ、ブリに

平成元年の日本人1人あたりの生鮮魚介類の購入数は、1位がイカ、2位がエビ、3位がマグロでした。しかし平成22年の調査では、サケ、イカ、マグロと順位が入れ替わり、その後の平成29年にはブリがランクインしています。



出典：総務省「家計調査」をもとに作成

30年以上もの研究を重ね 世界初の完全養殖クロマグロが誕生

クロマグロは、世界で水揚げされているマグロのなかでも漁獲量2%という貴重な高級魚。乱獲で減少していましたが、平成14年に近畿大学の水産研究所が世界で初めてクロマグロの完全養殖に成功。近大マグロと呼ばれ、出荷されています。



回転寿司で人気の高いネタが、上位を占める形に

各地でご当地米が続々登場 カレー用など、用途別のお米も

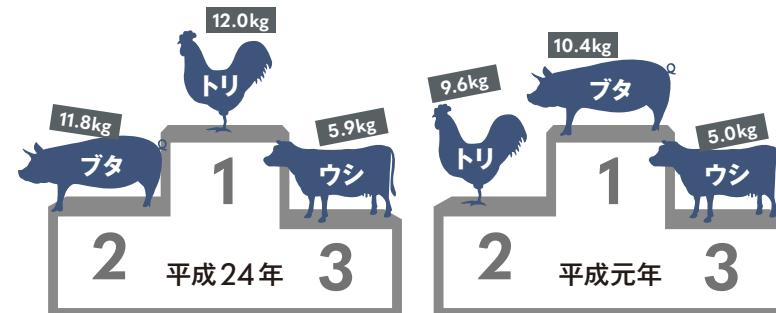
農研機構が、カレーライス用の米として開発した品種「華麗舞」。とろみのあるカレールウとよくあう

よりおいしい白米を求める消費者が多いことを受け、ブランド米が年々増加。また食味ランキングにおいて「特に良好」と判定された特Aランクの米も、平成11年の11銘柄から平成20年には21に増加。現在は55銘柄にまで増えています。さらにカレーにあう「華麗舞」やピラフに適した「ホシニシキ」など、多様な食の嗜好に因るために開発されたさまざまな新品種も生まれています。



一番食べられている肉は、豚肉を抜いて鶏肉がトップに

日本人1人あたりの年間食肉消費量



出典：農林水産省「食料需給表」から作成



一躍ブームになったセブンプレミアムの「サラダチキン」。蒸して味付けされた鶏のむね肉は手軽でヘルシー

ヘルシーなジビエ料理が注目を集める

ジビエ（野生鳥獣肉）を食べる習慣は古くからありましたが、増えすぎた野生鳥獣による農作物などへの被害が顕著となる中、ジビエとしておいしく食べようという動きが活発に。特に鹿は牛肉より高タンパク・低脂質な食材として注目を集めています。



鹿肉のくんせい

種苗会社が行ったアンケート調査で、「平成に流行ったと思う野菜」、「平成を代表すると思う野菜」、「平成になってから定着したと思う野菜」すべてのランキングで、パクチー、アボカド、フルーツトマトがトップ3を占めました。



フルーツトマト アボカド パクチー

2玉で320万円！過去最高値をつけた夕張メロン

平成30年5月に、北海道夕張市の特産品「夕張メロン」の初せりが行われ、これまでの過去最高額2玉300万円を20万円上回る、2玉320万円で落札されました。高級感のある甘さが高く評価されました。



写真提供／共同通信社

平成に流行った野菜トップ3は？

甘さを求める消費者ニーズにあわせた果物が多く栽培されるようになり、ひと昔前的高级品並みの糖度を持った果物が増えています。例えばいちごは、約20年前には糖度8程度が主流だったのが、最近では11～12に。また「あまおう」に代表されるような大きくて甘い品種が喜ばれ、平成以降、ぶどうなどでも多数開発されています。

果物は品種改良によってより甘く、大きく

スカイベリー

栃木で誕生した新品種。とちおとめにくらべて果実が大きく、甘みと酸味のバランスも抜群



紅まどんな

大玉で甘みも強く、外皮が薄くて柔らかいため、むきやすい。ゼリーのような果肉が特徴

シャインマスカット

大粒で豊かな香りがあり、糖度も18～20と甘い。種がなく皮ごと食べられ人気



平成20年 2008年	平成19年 2007年	平成18年 2006年	平成17年 2005年	平成16年 2004年	平成15年 2003年	平成14年 2002年	平成13年 2001年	平成12年 2000年	平成11年 1999年	元号 西暦
9月 麻生内閣誕生 6月 東京メトロ副都心線開通 6月 岩手・宮城内陸地震発生 7月 北海道洞爺湖サミット開催 8月 北京五輪開催 9月 米国でサブプライムローン問題が発生(リーマンショック)	2月 能登半島地震発生 3月 新潟県中越沖地震発生 7月 福田内閣誕生 9月 郵政民営化スタート 10月 東京メトロ副都心線開通	2月 トリノ冬季五輪開催 4月 地上デジタル放送「ワンセグ」開始 9月 安倍内閣誕生	2月 中部国際空港開港 3月 愛知万博開催 7月 ロンドン同時爆破事件発生	8月 アテネ五輪開催 10月 新潟県中越地震発生 11月 新札発行で千円札が野口英世、五千円札が樋口一葉に。 12月 福沢諭吉は変わらず 任天堂「DS」「ソニー」PSP発売	7月 宮城県北部地震発生 3月 イラク戦争勃発 5月 小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ 5月 三浦雄一郎さん(当時70歳)がエベレスト登頂成功	2月 ソルトレークシティ冬季五輪開催 5月 2002 FIFAワールドカップを日本と韓国で共同開催 10月 北朝鮮拉致被害者5名が帰国	3月 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)開園 4月 小泉内閣誕生 9月 東京デイズニッシー開園 9月 国内で初めて狂牛病が発見される 9月 米国で同時多発テロ発生 12月 愛子内親王ご誕生	4月 森内閣誕生 7月 三宅島の雄山が噴火 7月 新紙幣二千元札発行 9月 シドニー五輪開催 10月 鳥取県西部地震発生	1月 欧州11カ国がユーロ導入 12月 ポルトガルがマカオを中国に返還	主なできごと

共同通信社

共同通信社

ミウラ・ドルフィンズ

セルロースナノファイバーの 開発が進む

植物の主成分であるセルロースをナノサイズにまで細かく分解したバイオマス素材がセルロースナノファイバー。鋼鉄の5分の1の軽さながら5倍以上の強度をもち、ガスバリア性が高いなどのさまざまな特徴を有しています。軽くて強いため、自動車部品での活用に向けて実証中。また、保水性もあり、食品や化粧品などでも利用が進められています。



生地に練り込むことで、もちもちしっとりした食感になった「田子の月」のどら焼き



自動車のボンネットやドア部品などへの使用が期待される

47都道府県の木材を使って 新国立競技場を建設

「木の持つ温かな質感で観客を包み込む」というコンセプトのもと、建設が進められている新国立競技場。その軒庇の建築には、47都道府県から集めた木材が使用されます。さらにエントランスゲートの軒庇には復興を祈念して、北側と東側ゲートに東日本大震災で被災した岩手・宮城・福島の木材が、南側ゲートには、地震被害に見舞われた熊本県の木材が使われます。



大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所JV作成／JSC提供
注）パース等は完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。植栽は完成後、約10年の姿を想定しております



平成初期に発売された
小型田植え機



GPSや24.6馬力のディーゼルエンジンを搭載し、性能も格段に進歩
(写真はクボタの田植機「ナビヴェル」)
写真提供／(株)クボタ(上記2点とも)

さまざまな技術の進化

AIやIoTなどを駆使したテクノロジーの進化は、
農林水産業の分野にも大きな変化をもたらしています。

高齢化に加え、農業資材や燃油の高騰などの厳しい環境にある農家から、省力化でき、低価格な農業機械の需要が高まりました。田植え機は平成初期のものと比較すると、ICT活用が大きく進化。新たな機能が次々に追加され、農業者の負担が少なくなっています。農作物の収穫を代行する自動収穫機も実用化が始まっています。



トマトやいちごなどの
大規模農園で試験運用が
始まっている「農業
収穫ロボット」

新しい技術が開発され
農業の現場が変わる

米の加工技術の向上や食品企業の努力によって、さまざまな新しい食べ方が誕生。米をペースト状にした新しい米加工品「コメネピュレ」や、米を製粉した米粉を使った、小麦アレルギーの人も食べられるグルテンフリーの商品が注目されています。また、米粉でパンが焼けるホームベーカリーも発売されています。

米の新しい活用法に
注目が集まる



米粉でパンが作れるホーム
ベーカリー（パナソニック）



米粉とコメネピュレを使った米麺の
パスタセット

平成後期には、高機能を誇る調理家電が次々と出現。好みの炊き方を選べる機能付炊飯器や、自動調理鍋、過熱水蒸気だけで食材を加熱するウォーターオーブンなど、手間をかけずにおいしくてヘルシーな料理が作れる調理家電が発売されました。



銘柄にあわせて炊き方や水量を調整する銘柄量り炊き機能搭載（アイリスオーヤマ）



水なし自動調理鍋「ヘルシオ ホットクック」。
材料を入れるだけでおいしい煮込み料理ができる（シャープ）



丸洗い可能な蓋が画期的だった平成元年発売のマイコン炊飯ジャー（タイガー）

素材の味をより楽しむため
家電の性能が向上

次世代はこうなる？

未来予想図

未来の食事づくりは 3Dフードプリンターで

カートリッジにつめたペースト状の材料を、入力したレシピどおりに立体的に出力（調理）する3Dフードプリンター。現在はクッキーやパスタなど、できるメニューに限りがありますが、いずれは人が作るものと遜色ない料理ができるかもしれません。



ホウレンソウ乾燥粉末を練り込んだ「魚のすり身」を圧縮空気で押し出して造形

写真提供／水産大学校

昆虫が将来の 食糧難を救う？

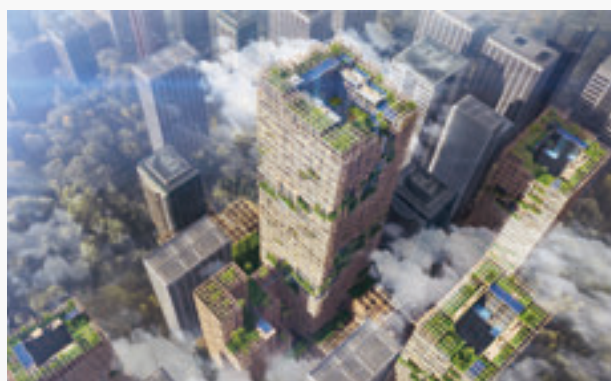
生産時の環境負荷が少なく、良質なタンパク質を摂取できることから「昆虫食」が注目されているのをご存じですか？ 国連食糧農業機関は貴重な栄養源として昆虫食を評価しており、日本国内でも普及を目指す企業がさまざまな商品を開発しています。世界的な人口増加で食糧難が予想される将来、昆虫の良質なタンパク質が注目されています。



「BugMo」が販売する
コオロギを使用したプロテインバー

超高層木造ビルで 街を森に変える

2041年を目標に、東京・丸の内を想定し、350m・地上70階建ての木造超高層建築物を建設する研究技術開発構想を住友林業が発表。建物は木材比率9割の木鋼ハイブリッド構造。高層建築物を木造化・木質化することで、持続可能な循環型社会を構築し、環境木化都市を目指すとしています。



画像提供／住友林業・日建設計

平成31年 2019年	平成30年 2018年	平成29年 2017年	平成28年 2016年	平成27年 2015年	平成26年 2014年	平成25年 2013年	平成24年 2012年	平成23年 2011年	平成22年 2010年	平成21年 2009年	元号
5月 新元号がスタート	10月9日 築地市場が閉場し、豊洲へ移転	2月2日 北海道胆振東部地震発生	3月4日 熊本地震発生	3月3日 北海道新幹線開通	2月2日 ソチ冬季五輪開催	9月2日 消費税が5%から8%に	9月12日 2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定	7月12日 安倍内閣誕生	3月3日 東日本大震災発生	2月6日 菅内閣誕生	主なできごと
		12月20日 天皇陛下ご退位が決定	8月5日 リオデジャネイロ五輪開催	3月3日 北陸新幹線の長野ー金沢間開通	9月4日 御嶽山が噴火	9月2日 2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定	9月12日 安倍内閣誕生	7月3日 九州新幹線の新八代ー博多間開通	3月3日 東日本大震災発生	2月6日 菅内閣誕生	

共同通信社

共同通信社